



ポルトガル (リスボン) 発 影絵作家BENIKOのソロ上演



シャドウプロジェクト

Beniko/SOL'TAによる



ポルトガル・イタリア公演に続く

日本公演

東洋的感性と西洋的感性が織り成す闇と光のファンタジー!



演目1 「アヴォジーニョさんの炭」

(原題Rapazinho do Carvão) 上演時間20分

ポルトガル北部、ポルト市のシンボルは樁。盛大な樁祭りが開催されBeniko/Sol'taの影絵作品が毎年上演されています。日本の昔ばなしが原作のこの「アヴォジーニョさんの炭」は2018年作で、ポルトのお年寄りから子供まで大好評を博しました。

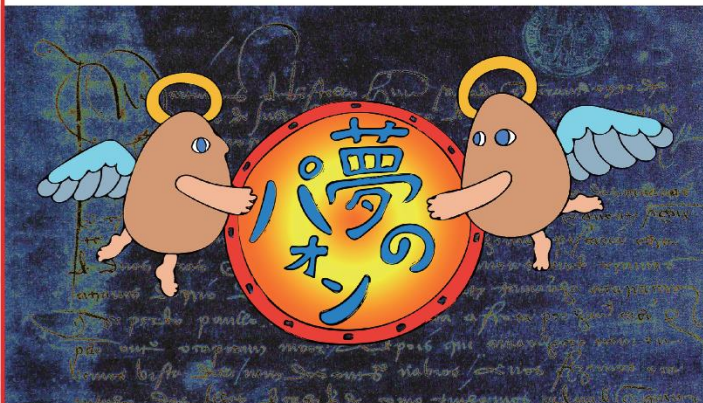
「アヴォジーニョさんの炭」 Rapazinho do carvão日本語版
原作：島根の民話
ディレクション・イメージ制作、人形制作：田中紅子
ナレーション、声：田中紅子、GEN
音楽制作：フローレント・マナボー
アニメーションプログラム：ティアゴ・カザイス
ポルトガル・ポルト市役所・製作依頼作品



演目2

ポルトガル文化紹介の ビデオ/スライド・ショー

(所要時間15分)



演目3 「夢のパオン」

(原題Pão de sonho)

上演時間20分

時は16世紀初め、大航海時代。ポルトガルから日本に伝わったと言われるお菓子があります。「バテール・アイン・カステーロ (お城のように高く泡立て) !」そう唱えながら、たっぷりの卵を泡立てて焼上げたというポルトガルの「パオン・デ・ロー」。長崎の伝統菓子として今に伝わるカステラに秘められたその歴史とは・・・

「夢のパオン」 Pão de sonho日本語版
ストーリー制作：田中紅子
ディレクション・イメージ制作、人形制作：田中紅子
ナレーション、声：田中紅子
音楽制作：フランチェスコ・ディ・カルロ
アニメーションプログラム：ヌノ・カロッシ
イメージ提供：ポルトガル国立図書館

プロフィール 田中紅子 (SOL'TA)

1976年生まれ東京出身。多摩美術大学卒業後ヨーロッパに渡り2005年よりポルトガル在住。リスボン国立大学にてポルトガル語を学び2006年リスボン・アート・インスティテュート・AR.CO に編入。同校ファインアート・アドヴァンスプログラムを2010年修了。さらに自身のルーツでもある内在するアジア文化への情熱が、影絵パフォーマンスという形に集束。2013年にはフアブリッチョ・モンテッキ (イタリア) に師事、影絵舞台劇を学び、現在に至るまでポルトガル国内外で数多くの劇場上演、学校公演を行っている。また、SOL'TA・シャドウパフォーマンスと称してのグループプロジェクトも立ち上げ、また近年は、シルエットデザイナーとして活動の幅を広げている。日本大使館主催のリスボン・日本祭りでは毎年総合司会を務め、ポルトガルと日本の文化交流に努めている。

Beniko
benikotanaka.com



■日時 2018年8月25日 (土) 午後3時～午後4時半

■会場 広島市中区袋町6-36 合人社ウエンディひと・まちプラザ 北棟6F マルチメディアスタジオ

■主催:広島スペイン協会 ■共催: (公財) 広島市文化財団まちづくり市民交流プラザ 「企業・団体との連携事業」 ☎082-545-3911 ■企画運営: Beniko/SOL'TA

■参加費用 大人 1,000円 小学生・中学生・高校生 500円 ■定員 112人 (予約先着順)

■ご予約・お問合せ 広島スペイン協会事務局 (木村) ☎090-8609-5371

ご予約の際にお寄せいただいた個人情報は、事業運営の目的以外に使用しません。